

令和3年 12月定例会

新型コロナウイルス対策関連補正予算ほか 全員一致で可決

あらまし

令和3年12月定例会は11月30日から12月13日までの14日間の日程で開催されました。請願1件、字区域の変更、公の施設の指定管理者の指定、条例改正、補正予算など19議案が提出され、一部の議案を除き各常任委員会に付託され慎重に審議が行われました。請願は多数決で不採択、議案はすべて原案のとおり可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦の同意

令和4年3月31日の任期満了に伴い、宇木京子氏を推薦するものです。全員一致で同意しました。

字区域の変更

群馬県宮赤城西麓中原土地改良事業の施行に伴い、地区内の土地の区画と形状が改められたことによる変更です。全員一致で可決しました。

渋川市体育施設条例の一部を改正する条例

渋川市武道館及び渋川市赤城総合運動自然公園スポーツセンターに空調設備が

設置されました。使用料など所要の改正をするものです。全員一致で可決しました。

渋川市ふるさと創生基金条例の一部を改正する条例

企業版ふるさと納税に係る寄附金を積み立てるため、所要の改正をするものです。全員一致で可決しました。

渋川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

昨今増加傾向にある、再生利用が可能な資源ごみ等の持ち去りを防止するため、条例の一部を改正するものです。全員一致で可決しま



再生利用が図られる資源ごみ

渋川市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例

令和2年度末に公共下水道の事業区域として追加された37haの区域について、

受益者負担金の賦課徴収に必要な事項(負担区の名称、単位負担金額)を条例に追加するものです。全員一致で可決しました。

渋川市消防団条例の一部を改正する条例

日中の火災現場で不足する消防力を補うため、基本団員のほかに、特定の消防業務に限り従事する機能別団員の任用基準を定めるものです。全員一致で可決しました。

渋川市図書館堀口基金条例

渋川市図書館の図書資料や施設の充実、図書館事業の振興を目的とし、堀口靖

之氏からの寄附金を基金に積み立て、有効に活用するため条例を制定するものです。全員一致で可決しました。

令和3年度一般会計補正予算(第10号・第11号・第12号)

第10号と第12号は主に各種新型コロナウイルス対応や子育て世帯への臨時特別給付金などの事業、第11号は広域組合の負担金割合の変更や校外活動支援バスの更新などの予算補正です。全員一致で可決しました。

～今回可決しました新型コロナウイルス感染症対策の 補正予算の一部を紹介します～

◎住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給

1,017,301千円

◎子育て世帯への臨時特別給付金の支給

972,806千円

◎新型コロナウイルスワクチンの3回目接種

469,709千円

◎「モノ・コトクーポン」の追加配布

148,484千円

◎生活困窮世帯への灯油の購入費助成

45,755千円

◎小規模事業者の事業継続の支援

39,800千円

常任委員会の審査

各常任委員会に付託された議案(総務市民4議案、経済建設3議案、教育福祉5議案、予算4議案)はすべて全会一致で可決しました。主な質疑等は次のとおりです。

総務市民

改正する条例

質疑 今回新たに設置する機能別消防団員の日頃の訓練は。

答弁 機能別消防団員は火元での活動ではなく、資機材の用意など後方支援を行います。消防団長の命により訓練を実施していく考えです。

質疑 機能別消防団員の報酬が基本団員の半額以下なのはなぜか。

答弁 基本団員と異なり、従事時間が決められていることや、すでに機能別消防団員を配置している県内市町村等の調査結果を踏まえ、

年額2万円としました。

改正する条例

質疑 今回新たに設置する資源ごみ等の持ち去りを防止するための条例改正です。

答弁 条例改正により、違反行為を市が認定し、さらに市長が違反行為を行わないよう命ずることができるようになる。抑止効果が高まる。しっかりと周知すべきと考えるが。

答弁 回収団体等に周知徹底を図っていきたいと考えています。

総務市民常任委員会協議会
市から次の事項について、報告・説明がありました。

- ・(仮称)浜川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援等に関する条例の制定方針について
- ・第2次浜川市総合計画後期基本計画策定方針について
- ・浜川市災害廃棄物処理計画の策定方針について

経済建設



道の駅おのこ

公の施設の指定管理者の指定について

小野上地区の農産物直売所の指定管理者に、一般社団法人道の駅おのこを指定

するものです。

質疑 今後、上信道の開通や前橋市に設置される道の駅の影響が見込まれるが、対策は。

【答弁】 地元の方が農産物を出荷したり、地元の特色を生かした商品の開発を行ったりしています。観光客を呼び込むための看板の設置や地域の連携を強化しながら多くの人に来ていただけるよう努力していきます。

質疑 自主事業をしっかりとやっていただいて集客を図らないと、今後ますます営業が難しくなると思うが。
【答弁】 昨年度は大学生等の意見を取り入れながら、トイレの利用のみにとどまらないような対策をいたしました。今後とも利益が出るような自主事業を検討調整していきます。

教育福祉

渋川市体育施設条例の一部を改正する条例

武道館及び赤城総合運動

自然公園スポーツセンターに空調設備を設置したことに伴う改正です。

質疑 空調の使用料が設けられたが、何を基準に設定しているのか。

【答弁】 子持社会体育館を参考にしました。



空調が設置された武道館

渋川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

認定こども園や保育所、幼稚園などで作成される記録について、これまでの書面に加え、新たに電磁的記録による作成も可能にする規定を設けたものです。

質疑 現在、市内の保育事業で電磁的記録をどの程度利用しているのか。

【答弁】 保護者へのお知らせや市との事務的なやりとりや電子メールを利用しています。一方で園からのお便りなどは紙のほうが温かみがある場合もありますので、バランスよく活用することが大切だと考えています。

このほか付託された請願1件は不採択としました。

教育福祉常任委員会協議会

市から次の事項について、報告・説明がありました。

渋川市国民健康保険あかぎ診療所の休止について

質疑 診療所は再開するか、しないのか。

【答弁】 現在、検討中です。結論はいつ出るのか。

【答弁】 今年度中におおむね決定できると考えています。

質疑 地元への説明もなく休止が発表され、動揺が広がっている。地元説明会を開くべきだったのでは。

【答弁】 患者さんの動向は伺

っていましたが、配慮が足りなかったと感じています。
質疑 現場の声が大事。きちんと声を拾うべき。

【答弁】 市民の意見を取り入れる方策を検討していきます。

予算

一般会計補正予算(第11号)

バス交通デマンド化事業

北橋地区で試行運行しているデマンドバスを令和4年度から本格運行に移行するとともに、小野上・子持地区での導入に向けた調査を実施するための補正予算です。

質疑 北橋地区の取り組み状況は。

【答弁】 北橋地区で行っている試行運行の日別の乗車実績データなどから北橋地区の移動需要の特性などを調査しています。また、利用実態の把握のため、高齢者のふれあいサロン等に出向き、説明会や乗車体験会などを計画しています。現在

北橋地区の試行運行の成果を本格運行につなげるための検証作業を続けています。

ごみ処理施設運営費

質疑 ごみ処理負担金の予算を減額した理由は、市のごみ減量化の取り組みの成果によるものか。

【答弁】 減額理由はコロナ禍の影響もあり、事業系ごみが大幅に減少し、ごみ処理施設運営費が減少したことによるものです。家庭ごみは増えているので、ごみ減量化の取り組みによるものではないと考えます。

介護保険特別会計

補正予算(第2号)

生活援助食事サービス事業
質疑 対象者と利用者ほどのくらいいるのか。

【答弁】 登録者数は511人です。利用者数は4月は184人、10月は210人で、徐々に増加傾向にあります。